



昨年3月にオープンしたリサイクルパークの利用者が、9月2日、2万人を突破し、2万人目の利用者となった^(はらいかわ)萩川正夫さん(大明西町)にリサイクルパークの山西理事長から記念品が贈られました。

萩川さんは、リサイクルパークをいつも利用しているそうで、「たまたま昨日から用意していたリサイクルごみを置きに來ただけなのに」と驚いていました。また、「今後は、生ごみの堆肥化もやってみたい」と話してくれました。

利用者2万人を超えました



いつまでもお元気で

市内各地で、お年寄りのみなさんの日ごろからの労をねぎらい、長寿を祝う敬老会が開催されました。

安楽島町では、9月15日に開催され、町内の高齢者98人が出席しました。

会場では、婦人会や小学生らが日本舞踊などを披露して場を盛り上げたり、お年寄りのみなさんがカラオケで自慢のものを披露するなど、笑いの絶えない敬老会となりました。

出席されたお年寄りのかたは、「最高に良い敬老会でした」と笑顔で話してくれました。



「電気安全使用月間」にちなみ、三重県電気工事業工業組合鳥羽支部青年部と中部電力伊勢営業所が、8月22日、毎年恒例となっている市内に住む一人暮らしのお年寄り宅の配線安全点検作業を実施しました。

この日は、鳥羽一丁目、二丁目のお年寄り宅34件を訪問し、配電盤や漏電の点検、電気の使用に関するアドバイスなどを行いました。点検をしてもらったお年寄りは、「ありがたいですね。これで安心して夜も眠れます」と喜んでいました。

安全な暮らしをお届けしたい



家具固定で転ばぬ先の杖

地震が起こったときの被害を少しでも軽減しようと9月8日、相差自主防災会が「家具固定教室」を開催しました。

講師に三重県建設労働組合伊勢支部のかたがたを招き、約60人の町民が参加して、家具の転倒防止金具の取り付け方法や取り付け場所などについて学びました。

室内模型と実際の家具を使い、実演も交えたわかりやすい説明に、参加者は、うなずきながら聞き入っていました。

講習会の後には、「家具の転倒対策は気になりながら、やっていませんでした。これを機会に早速やってみたいと思います」という声が聞かれました。